

NEWS LETTER

第3回地域支え合い会議を開催 県大生の協力で 「模擬スマホ使い方教室」を実施

昨年12月14日に第3回地域支え合い会議が開催されました。

今回は「地域の望み」の中から提案された2つの取組目標のうちの1つ「学生・住民参加による高齢者スマホ使用方教室」の実現に向け、埼玉県立大学の学生3名が参加し「模擬スマホ使い方教室」を実施しました。



学生からスマホ操作を教わる参加者の皆さん

普段使う機会のなかったQRコードの読み取りやアプリのダウンロード、検索機能の活用など、学生の皆さんが手を添えながら、皆さん懸命にそして楽しみながら、取り組むことができました。

「スマホの画面上に、以前入力した内容が思いがけず表示されてしまった。少し不安を感じた」など、取り組みの中

中で感じた課題もあり、実践に向けた貴重な機会となりました。一方で「スマホ」という共通のテーマを通じて、学生と参加メンバーとの世代を超えた交流がごく自然に行われていた点も非常に印象的でした。

TOPIC スマホのお悩み相談会

1月15日に大袋駅前商店街にある「ふらっと」おおぶくろにおいて、埼玉県立大学学生ボランティアサークルMAGOのメンバー2名と越谷市社協で推進するスマホを教えるボランティア「スマートフォンマイスター」6名が協力し、「スマホのお悩み相談会」が開催されました。

今回の取り組みは「教室・研修」ではなく、相談形式で開催され、利用者と学生、ボ

ランティアが「スマホ」という共通の話題で会話をしながら交流し、新たな発見や体験をする機会になりました。



高齢者の方を中心に8名が参加

文字の打ち方からSNSの活用まで、幅広い相談に対応しました

『「地域の居場所」で「世代を超えた交流」を実現する』という、地域支え合い会議の目標にも合致した取り組みとして今後も注目していきたいと思えます。

地域支え合い会議は、住民の皆さんが主役となって進めていく会議です。「興味がある」「一緒に考えたい」と思われた方、また連携してみたいと思われた企業の方など、是非、会議にご参加ください。

「スマホ用語」皆さんはわかりますか？
『スマホの用語を伝える言葉に言い換えよう』
(第3回地域支え合い会議のワークから一部抜粋)

例:アプリ → 機能、パソコンでいう「ソフト」等

- Q1.アカウント
- Q2.クラウド
- Q3.サブスクリプション
- Q4.フィッシング
- Q5.スクリーンショット(スクショ)

回答例は↓欄外をご覧ください↓

新型コロナウイルス感染症の再拡大のため、2月に予定していた会議は開催を見送ることとなりました。

問合せ 0966-3411 (社協 染谷)